

製品名: Keap1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03056**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 70 kDa; Observed MW: 60-64 kDa

抗原情報

遺伝子名	KEAP1
別名	INrf2; KLHL19
遺伝子 ID	9817
SwissProt ID	Q14145
免疫原	ヒト Keap1 の組み換えタンパク質

背景

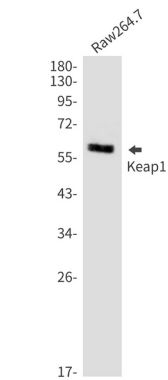
この遺伝子は、KELCH-1 類似ドメインと BTB/POZ ドメインを含むタンパク質をコードしています。Kelch 類似 ECH 関連タンパク質

1 は、NF-E2 関連因子 2 と酸化還元感受性に相互作用し、細胞質内でのタンパク質の解離に続いて NF-E2 関連因子 2 が核へ輸送されます。この相互作用の結果、 γ -グルタミルシステイン合成酵素の触媒サブユニットが発現します。この遺伝子には、同じアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

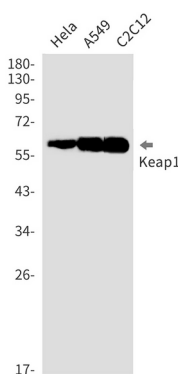
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

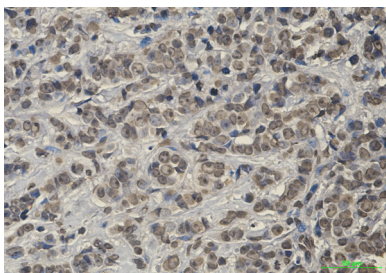
画像データ



Keap1 抗体を使用した Raw264.7 溶解物中の Keap1 のウェスタン プロット分析。



Keap1 抗体を使用した HeLa、A549、C2C12 溶解物中の Keap1 のウェスタン プロット分析。



Keap1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。